

学校部活動の活動方針

市川市立南行徳中学校 校長 大久保 浩

教育目標	<p>○学校教育目標</p> <p>「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成</p> <p>○学校教育目標と部活動との関連、また、部活動の教育的意義等</p> <p>部活動は生徒がスポーツや文化、科学等に親しみ、学習意欲の向上と責任感、連帯感の涵養に資するものとして、学校教育の一環として行われるものである。また、体力や技能の向上を図る以外にも、好ましい人間関係の形成や社会性・公共性を身につけるなど、生徒の多様な学びの場として、教育的意義が大きい。</p>
部活動の基本方針	<p>○目的</p> <p>同好の仲間が集い、お互いの立場を守りながら創意と工夫を趣旨とする共同活動を行い、顧問教師の指導のもとに、生徒が自ら計画し自主的に積極的な活動を通し、心身の健全な発育をはかる。</p> <p>○適切な指導</p> <ul style="list-style-type: none">・顧問は、担当する部の特性などを踏まえ、合理的にかつ効率的・効果的な活動を工夫する。・生徒の人格を傷つける言動や体罰を根絶するとともに、パワーハラスメントやセクシャルハラスメントについても根絶を徹底する。 <p>○適切な活動時間</p> <ul style="list-style-type: none">・1日の活動時間は、平日において2時間程度、学校の休業日は3時間程度を基準とする。ただし、種目の特性や活動目的等に応じて、この時間を超えて活動する場合は、その前後の活動時間を短縮すること等により、過度にならないように留意して活動する。・学期中は、週あたり2日以上以上の休業日を設ける。平日は月曜日の朝と水曜日の放課後の「ノ一部活タイム」を合わせて1日以上を休業日とする。土曜日・日曜日は少なくとも1日以上を休業日とする。ただし、大会等のために土曜日・日曜日とも活動した場合は、他の曜日に休業日を振り返る。・長期休業中は、学期中の休業日の設定に準じるが、夏季の学校閉庁日や年末年始の休日を活用し、まとまった休業期間を設ける。・生徒の学習時間が確保できるよう、定期試験前7日間は、活動停止とする。 <p>○事故防止</p> <ul style="list-style-type: none">・活動中のけがや事故を未然に防止し、安全な活動環境を整える。・熱中症予防には、暑さ指数(WBGT)を参考にし、活動中の顧問が連携して適切に判断する。また、身体を冷やす物・道具・環境等、体調不良回復のための準備に努める。・校外での活動のため自転車で移動する場合は、ヘルメットの着用を徹底する。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none">・顧問は年間・毎月の活動計画を作成し、校長に提出するとともに、生徒・保護者に周知する。

南行徳中学校の部活動活動時間等に関する内規（市川市ガイドラインに基づく）

（市川市のガイドライン）

平日の活動は長くとも2時間程度とし、土曜日及び日曜日（以下「週末」という）を含む学校休業日は、3時間程度とする。ただし、種目の特性や活動目的に応じて、この時間を超えて活動する場合は、その前後の活動時間を短縮すること等により、過度にならないように留意して活動する。

1. 休養日の設定：週当たり、平日1日、週末1日を休養日とする。

→平日1日：月曜日の朝と水曜日の放課後の休み

→週末1日：土曜日か日曜日のどちらか休み（※週末2日間とも活動した時には、平日に2日設ける）

→長期の休業日を設ける：夏季休業中の学校閉庁日、年末年始の休日等の活用

2. 南行徳中学校の部活動活動時間の原則・計画の立て方

① →平日は長くとも2時間程度……朝1時間<準備片づけ込み>

放課後2時間30分<準備片づけ込み>

合計：3時間30分（実働2時間30分程度：準備片づけ1時間）

② 週末・学校休業日は3時間程度……4時間（実働3時間 ※準備片づけ除く）

実働時間が4時間を超える場合は、前後1週間以内で超えた時間分を短くして計画する。

※週末が大会などで2日間活動を行った、日曜日が大会で土曜日練習の場合

→月曜日の朝練習と水曜日の放課後を休み以外で、1日分の休養日を設ける。

（例えば、火曜日の朝練習+木曜日の放課後=1日分 OR 火曜日の朝練習+火曜日の放課後=1日分）

※1日練習を行った場合

実働時間が4時間を超える場合は、前後1週間以内で超えた時間分を短くして計画する。

3. 地域や学校の実態を踏まえた工夫

種目の特性を十分に把握し、学校・地域・家庭が理解し弾力的かつ円滑な活動ができるようにする。